

入札監視委員会定例会議 議事概要

- 1 開催日 平成27年11月9日（月）
- 2 場 所 都市再生機構九州支社 第2会議室A

3 委 員

[委員長]

齋藤参郎（大学教授）

[委員長代理]

外井哲志（大学准教授）

[委員]（五十音順）

半田萬（弁護士）、小山智幸（大学准教授）

- 4 審議対象期間 平成27年4月1日～平成27年9月30日

5 抽出件数

	入札方式別	抽出件数
1	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（工事）	1 件
2	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、落札率が高い契約（工事）	1 件
3	一般競争入札方式・詳細条件審査型一般競争入札方式のうち、一者応札・応募の契約（工事）	1 件
4	指名競争入札方式（工事）	1 件
5	随意契約方式（工事）	1 件
6	一定の関係を有するものとして情報公開の対象となっている法人との契約（業務等）	1 件
7	落札率が高い契約（業務等）	1 件
8	一者応札・応募の契約（業務等）	1 件
抽出件数（計）		8 件

- 6 委員からの意見・質問それに対する回答
別紙のとおり。

以 上

	意 見 等	回 答
1	<p>【平成27年度小規模修繕工事（九州支社 福3-2-①）】</p> <p>・空家修繕工事だけで公募した方が応札者が増えるのではないかな？</p> <p>・想定工事量を超える工事が発生した場合の支払いはどうなるのか？</p>	<p>・空家工事の大半は建築工事であるので、建築とセットにしている。また、工事効率、入居者サービスを考慮して、電気、機械を含めた中工区を設けている。 なお、小規模なエリアでは、電気、機械の小工区を設けている。</p> <p>・単価契約方式であるので、発注工事量が増減することになる。</p>
2	<p>【平成27年度小規模修繕工事（九州支社 福3-4-②）】</p> <p>・技術評価はどのように評価を行っているのか？</p>	<p>・機構が提示したテーマに対する具体的な提案の有無等により採点している。</p>
3	<p>【平成27年度小規模修繕工事（九州支社 福1-2-①）】</p> <p>・特になし。</p>	
4	<p>【27-梅ノ木団地B工区ほか1団地外壁修繕その他工事】</p> <p>・特になし</p>	
5	<p>【27-日の里一丁目ほか1団地エレベーター安全対策改修等工事】</p> <p>・予定価格はどのように積算しているのか？</p>	<p>・本社にて機構全体の工事量を算出し、エレベーター業者と協議し、ボリュームディスカウント方式で単価を決めている。また、それ以外の費用は支社にて見積りを取っている。</p>

6	<p>【平成27年度福岡市域における都市機能強化検討調査業務】</p> <p>・落札業者と秘密保持契約は締結するのか？</p>	<p>・請負契約締結時に秘密保持契約を締結している。</p>
7	<p>【アーバインルネス若久造園工事変更設計業務】</p> <p>・特になし</p>	
8	<p>【城野駅北地区 平成27年度タウンマネジメント推進調査業務】</p> <p>・業務内容はどのようなものか？</p> <p>・機構が支援する根拠は何か？</p>	<p>・一般社団法人運営のための運用規則や集会所施設の使用細則などのルール作りを実施。また、事業計画や資金計画等の標準的なものを作成し、支援する業務である。</p> <p>・当該土地区画整理事業は「ゼロ・カーボン先進街区」の形成を目的としており、そのまちづくり実現のため機構と北九州市で協議した結果、タウンマネジメントを導入することとしたことから、一般社団法人の設立及び自立運営するまでの間の立ち上げ支援を行うものである。</p>